

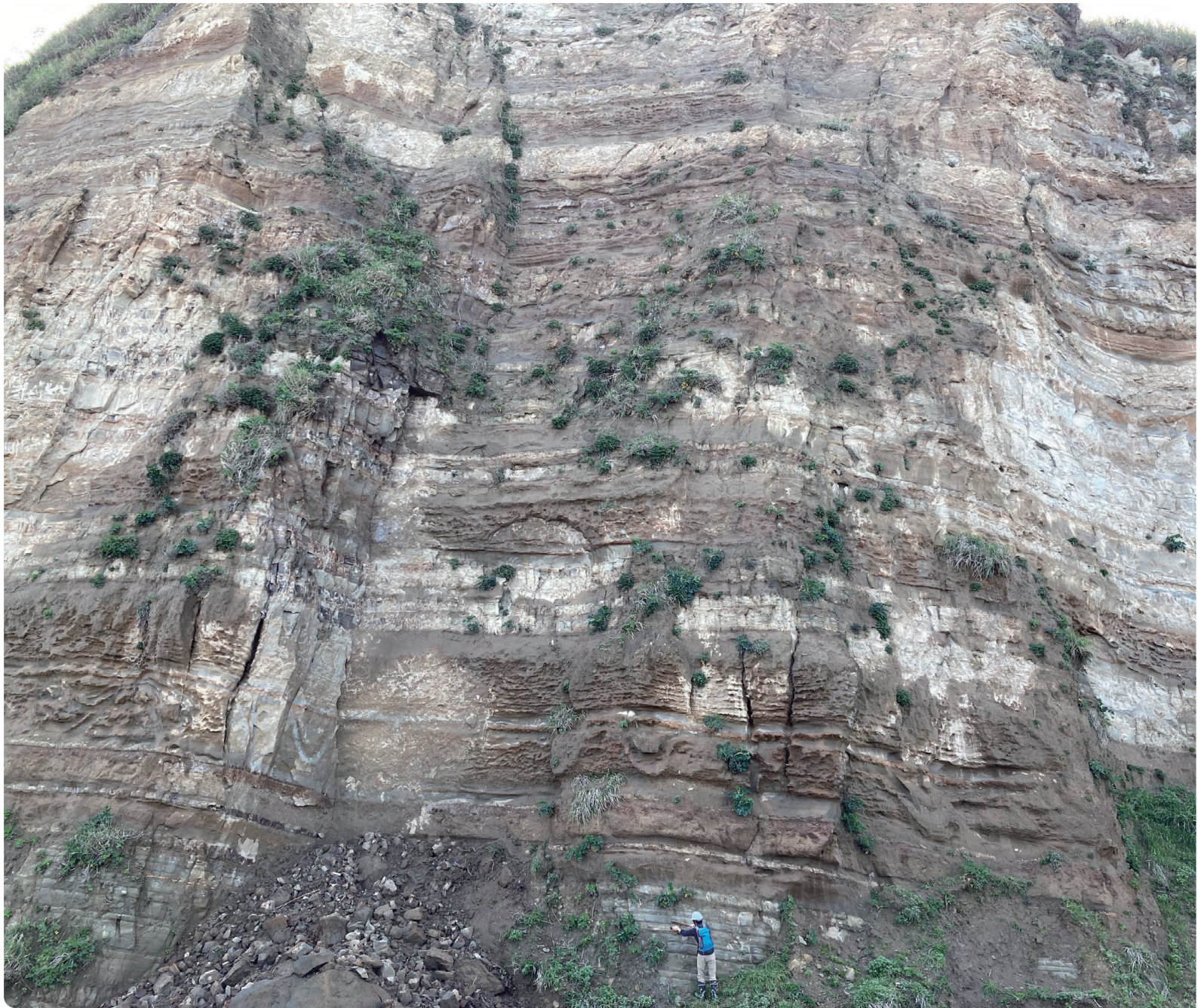
# GSJ 地球をよく知り、地球と共生する

# 地質ニュース

2023

5

Vol.12 No.5





# 5月号

- 
- |     |   |           |
|-----|---|-----------|
| 127 | <b>地質調査総合センターの令和 5（2023）年度運営体制紹介とご挨拶</b>                                    | 中尾信典      |
| 129 | <b>地質調査総合センターの 2023 年度研究展開</b>  | 今泉博之      |
| 132 | <b>地質情報研究部門の 2023 年度研究戦略</b>  | 荒井晃作      |
| 138 | <b>活断層・火山研究部門の 2023 年度研究戦略</b>  | 藤原 治      |
| 142 | <b>地圏資源環境研究部門の 2023 年度の研究戦略</b>   | 相馬宣和      |
| 145 | <b>再生可能エネルギー研究センター 地熱チーム・地中熱チームの 2023 年度研究戦略</b>                            | 浅沼 宏      |
| 148 | <b>地質情報基盤センターの 2023 年度業務戦略</b>  | 吉川敏之      |
| 150 | <b>「日本地質誌」抄訳ー J. J. ライン著『日本の実地調査と研究』第 1 巻（1881）よりー（その 1）日本の地質概要および山地構成層</b> | 山田直利・矢島道子 |

#### GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典  
副委員長 小松原純子  
委員 竹原孝  
児玉信介  
戸崎裕貴  
草野有紀  
宇都宮正志  
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター  
地質情報基盤センター 出版室  
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

---

GSJ 地質ニュース 第 12 巻 第 5 号  
令和 5 年 5 月 15 日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター

〒 305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 7

印刷所

#### GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : MIYACHI Yoshinori  
Deputy Chief Editor : KOMATSUBARA Junko  
Editors : TAKEHARA Takashi  
KODAMA Shinsuke  
TOSAKI Yuki  
KUSANO Yuki  
UTSUNOMIYA Masayuki  
MORIJI Rie

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology  
Geological Survey of Japan  
Geoinformation Service Center Publication Office  
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

---

GSJ Chishitsu News Vol. 12 No. 5  
May 15, 2023

**Geological Survey of Japan, AIST**

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,  
Ibaraki 305-8567, Japan

## いすみ市大原海岸に露出する上総層群大原層の露頭

[cover photo](#)



千葉県いすみ市の大原海岸には更新統の<sup>かずさ</sup>上総層群大原層下部からなる大規模な海食崖が見られる。露頭は砂勝ちの砂岩泥岩互層からなり、小規模なチャンネル構造や未固結変形が観察できる。堆積環境は海底扇状地と考えられている。写真の人物の左手のあたりに露出している白色テフラ層 KB (Oh18) は、わずかに大隅石を含むことを特徴とする広域テフラで、中央日本の東海層群、古琵琶湖層群、<sup>おんま</sup>大桑層中のテフラに対比されている。

(写真・文：小松原純子・宇都宮正志 産総研地質調査総合センター  
地質情報研究部門)

One of large outcrops of the Pleistocene Ohara Formation, Kazusa Group, exposed on Ohara Coast, Chiba Prefecture, Japan.  
Photo and caption by KOMATSUBARA Junko and UTSUNOMIYA Masayuki